

防災用品を準備しよう

災害時は物流の停滞や電気・水道等のライフラインの途絶などが想定されます。水や食料は最低3日分(大地震では1週間分)、避難生活で必要な生活用品などを備蓄しましょう。また、貴重品や常備薬などは、非常持出袋(リュック)にまとめて持ち出しやすい場所において置きましょう。

非常時の持ち出し品	
食料品	飲料水・乾パン・クッキー・アルファ米・カップ麺・缶詰など
生活用品	懐中電灯・タオル・毛布・寝袋・歯ブラシ・下着・除菌ウェットティッシュ・せっけん・スリッパ・ゴミ袋・乾電池など
情報確認手段	ラジオ・携帯電話充電器
健康管理	マスク・体温計・アルコール消毒液・常備薬
その他	ヘルメット・防災ずきん・ゴム手袋など

定期的な持ち出し品をチェックしましょう！

災害時の情報収集のため、防災行政無線の戸別受信機を設置しよう

町では、災害に備え防災行政無線戸別受信機の各戸配備を勧めています。防災行政無線は災害情報をはじめ、町で行う各行事や住民健診等、みなさんの生活に関連した情報を随時放送しています。



防災行政無線新規設置時に分担金5,000円(※)が必要ですが、故障や交換等の対応は町が無償にて行いますので是非ご検討ください。また、電波状況により屋外アンテナの設置が必要な場合は町が無償で設置します。ただし、借家の場合は貸主の手が必要となります。※次の世帯は分担金が免除されます。生活保護世帯、準要保護世帯、重度障害者世帯(身体障害者手帳1級・2級、療育手帳①・②の1・②・Aの1・Aの2、精神障害者保健福祉手帳1級のいずれかの手帳をお持ちの方がいる世帯)

戸別受信機の乾電池の交換手順

③ 電源スイッチを「入」にする

② 古い電池を取り出し、新しい電池を入れる

電池のふたの開け方

① 電源スイッチを「切」にする

右側面

入切

単1電池の場合(上の段に入れる)

単2電池の場合(下の段に入れる)

単3電池の場合(下の段に入れる)

(4本入れてしまっている)

みんなときぼんちん

新しい電池に交換したのに「乾電池を交換してください」という音声が消えない。

電源スイッチを切り、再度、電源を入れ直してください。